

〈学校教育目標〉
よく学び、たくましく生きる心豊かな児童の育成
「元気な子 考える子 やさしい子」

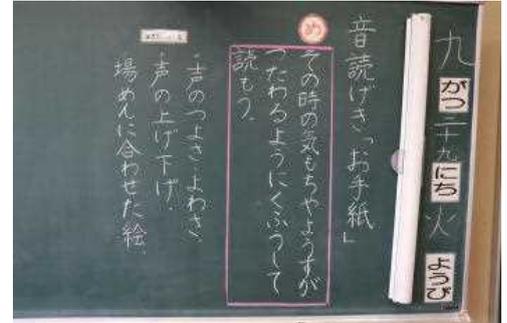
総社市立維新小学校
令和2年9月30日
第54号

音読発表会に招待されました！！

9月29日（火）の2校時目、2年生の音読発表会に招待されました。教室に入るとリハーサルも終わり、発表にあたってのめあてが、きれいに板書されていました。題材はアーノルド＝ローベル作のがま君とかえる君の友情をテーマとした「お手紙」です。「その時の気持ちや様子が伝わるように工夫して読もう」というめあてで、具体的には、「声の強さ・弱さ、声の上げ・下げ、場面に合わせた絵」に気を付けて読むことが設定されていました。



朗読しながらペープサートも動かします。難しいけど、よく頑張りました。



授業では必ず、めあてが板書されます。先生はいつも、低学年にふさわしい大きさで、きれいな字で板書されます。

招待された先生方も、めあてに沿って頑張っている姿を評価してあげることができます。ペープサートを場面ごとに変えて提示しながら、会話の部分は抑揚を込めて、とても上手に音読する姿に感動しました。また、1年生も、途中かたつむりのセリフを言って発表を手伝っていました。

こんなにいっぱい！ ひまわりの種を収穫



本誌面で、3本のひまわりのうち、1本が2m 36cmにも成長したことは、以前お伝えしました。そのひまわりもすでに枯れて、3つの花にできた種をこのほど収穫しました。大輪の3つのひまわりの花から収穫した種は、ヨーグルトのカップでおよそ16杯分。1・2年生の2人がせっせと種を取り出し、集めました。さて、このたくさん種の行く末は？



校長フォト「壁燕」

撮影日：9月17日

校舎の軒下には多くの燕の巣が残されています。もう、巣への出入りはあまり目になくなりました。雛も成長し、立派に巣立ったのでしよう。校舎の壁に上手に止まる燕を見たのは約2週間前のことです。なぜ、あんな難しい所に止まるのか、不思議に思ってシャッターを切りました。たくさんいた燕もその姿が日に日に減っているように思います。燕が越冬のために旅立つのは9月中旬から10月の下旬で、主に東南アジアやオーストラリア北部に移動すると言われています。およそ4000kmの移動を1日約50km～300kmかけて単独で飛行するようです。ご苦労なことです。

